

## ①学校と親と地域の連携で、責任ある教育を

- ・コミュニティスクールの創設を
- ・学力を把握し、基礎学力の徹底を

## ②悩める親を応援し、街中に子供の遊び場を

- ・親を地域がサポートするしくみを
- ・放課後の学校、浅間山や多摩川を遊べる場に

## ③歴史遺産と一流の文化施設を地域に活かす

- ・武蔵国府や熊野神社古墳を親しめる場所に
- ・芸術劇場、美術館にアートマネージャーを

## ④学校を拠点に、地域にエコ意識を広げよう

- ・教室に緑のカーテン、校庭に原っぱを
- ・学校でペットボトルを回収

## ⑤必ず起こる大地震、市民の生命を守れ

- ・実践的な地域防災訓練を
- ・住宅の耐震化とマンションの建替え支援を

## ⑥見える市政を実現し、市民の活動を支援する

- ・市の「行政計画」に対応した「成果」の報告
- ・市民提案型補助金の拡充

**府中の民主党は、市議会のインターネット放映を推進します。**

府中市議会議員・府中の元気

## 杉村康之



ご意見ご声援をよろしくお願いいたします！

事務所◆府中市栄町 2-14-21-101

TEL◆042-335-0097 / FAX◆042-361-9856

Email◆sugimura@sea.sannet.ne.jp

URL◆http://www.fuchu21.gn.to

郵便振替◆00150-1-102251(フリーダムネット)

銀行口座◆みずほ銀行府中支店 貯 4572242



# フリーダムネット

号外⑦・議会改革編

市議会のインターネット放映に  
**自・公が事実上の反対**

昨年6月議会で出された、市議会のインターネット放映を求める陳情が1年間棚上げされ、この4月の市議会任期満了により、審議未了廃案となる見通しです。

自民系・公明党会派が、事実上の反対をしてきた理由は、

- ①発言をしない議員にとって不公平になる
- ②年間30日ほどの本会議のために必要ないのではないか
- ③市が情報公開をやっているから、議会は急ぐことはない
- ④この陳情を支持する議員たちから働きかけがない

の4点。どれをとっても、とっておかしな理屈だと思えます。

「議会の情報を知って何をしたいのか？」という陳情者への質問も飛び出しました。こんな議会のやり取りを、ぜひインターネットでご覧いただきたいと思います。

4年前の公約

**はっきりイエス、  
はっきりノー**



■公約のねらい

政治は信念だ。はっきり「イエス」、はっきり「ノー」。力強い責任感と行動力をエネルギーに、議会に新風を起こします。今、府中の元気が燃えている。

■取り組みと課題

私は、この4年間、会派や与党としての立場にとらわれず、よいことにはよいと賛成し、おかしいことにはおかしいと率直に発言することを心がけてまいりました。

結果として、共産党の新聞に書かれたり、議会で不穏当呼ばわりされたこともありましたが、一方で、議会の役割であるチェック機能を微力ながら果たすことができました。

今後は、議会の透明性、市政への市民参加をさらに高めて、市民が直接に市政をチェックできるしくみをつくっていきます。

**是々非々発言** 市議会のインターネット放映を求める市民からの陳情に消極的な態度をとる自民・公明に対して

「インターネット放映が、議会で発言しない議員に不公平だというのが、議会で発言するしないはそれぞれの議員の完全な自由であるから、不公平にはあたらない。また年間でたった30日の本会議のために整備する必要はないとおっしゃるが、それならお金をかけて議事録を作成することも必要ないということになる。市に対して情報公開を求めている我々議会が自ら率先して情報公開に積極的でなければならぬと思うので、この陳情の採択を主張します。」(2006年9月・本会議)

新しい公約

**見える市政を実現し、市民の活動を支援する**

- ・市の「行政計画」に対応した「成果」の報告
- ・市民提案型補助金の拡充

◆是々非々発言◆

教育委員は教育の専門家だけでいいのか？
学力分析や学校評価の結果は公表すべきでは？
保育所だけでなく、すべての家庭に向けた子育て支援を
美術館館長の顔が見えない。美術館の広告塔になってほしい
府中市環境行動指針、に校庭の芝生化とある。なぜやらない？
住宅の耐震化が進んでいない。目標を定めるべきでは？
市民提案型補助金の創設を。拡大を。
審議会などの会議録がなぜホームページで見れないのか？
事業の目標値が事後に設定されるのはおかしいのではないか
様々な事業計画があるが、成果が見えない。



◆市政が変わったこと◆

地域住民・親の代表といえる教育委員が2人誕生。
公表されることに。
「たち」の開設。地域子育て支援事業のスタート。
美術館のPR冊子に館長が写真入りで掲載される。
試験的实施を計画。
19年度に計画を策定し、耐震化率90%を目標と定める。
市民提案型補助金が予算50万円で実現。さらに300万円に拡大。
原則、ホームページで公表することに。
目標は当然事前に設定されるべき、そのようにしたい、との答弁。
今後、成果も報告書にまとめていく、との答弁。